

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net> E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



<12月「特別行事」から>

12/15-16の特別行事はたくさん
の企画実施～アウトドア・映画・
生徒グループ発表・コンサート・

食育は春夏に余市教育福祉村
/農業実習で収穫した野菜を使い、
希望するメニューを調理して
おいしくいただきました。

<写真>←食育タイム/小中一緒
に分担 ↓恵方巻は週末型居
場所「お家」メンバーが2/3調理

INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンラスト/運動他
- p3: 2023 方針他(案)、他
- p4-5: 大学生実習
- p6-7:3 学期進行/初等・中学
- p8: エッセー、カレンダー、後記

戦争と平和について～世界平和を願って

(株)和光・会長 田中 傳右衛門

ウクライナへのロシアによる侵略戦争は日夜、痛々しい映像で伝えてきます。過去には世界の覇権争いの中で第一次、第二次大戦と大きな戦争が起きています。どうして戦争を防ぐことが出来ないのか、人間は何と愚かな存在なのかと痛み入ってしまいます。

日本にとって身近な処ではアメリカ合衆国と中国の対立の中、台湾問題がクローズアップされています。日本政府はその中に引込まれ、国家財政が大変厳しい中で大幅に防衛費をアップしようとしています。著名な未来学者アルビン・トフラー(米)は、「日本にはアメリカと中国の争いの間に立ち、決して戦争に加担することなく平和裏に覇権が移っていくようにする大きな役目がある」と予言しています。

第二次大戦後、日本はアメリカと関係を深めてきました。また一方で、日本は歴史的に中国とも深い関係があります。今、経済面では日本の輸出入の貿易額の25%は中国です。これからは更に、中国とは教育・文化・スポーツ等の民間交流をより活発化する事が重要です。昨年亡くなられた京セラ創業者・稲盛和夫さんは、中国に『盛和塾』をつくり中国の企業経営者達に「経営の神髄は、人々の物心両面の幸福の実現に務める事にある」と指導しています。防衛費よりも、この様な交流に政府が予算をとり、世界の平和に貢献する日本であって欲しい。

[筆者は本認定NPO法人の副代表理事。長年、北海道中小企業家同友会役員も勤められました]